



公益  
社団法人 京都府放射線技師会

# 京放技ニュース

10 / 2014  
(通算 653 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp  
ホームページアドレス <http://www.kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギンカイ

## 原子力防災訓練でのサーベイ活動員募集のお願い

管理士会 山根 稔教

(公社)京都府放射線技師会は、京都府、南丹市、京丹波町が主催する平成 26 年度京都府原子力総合防災訓練に参加協力します。この訓練への参加は公益社団法人として京都府放射線技師会が公益性を発揮し府民の皆様に役立ち PR できる活動となります。また、府民の皆様に、放射線の不安の解消や防災意識を高めてもらう手助けの一環を担える活動でもあります。今回 11 月 24 日に京丹波町の丹波自然運動公園体育館にて開催されます。この防災訓練は自衛隊、医師会、日赤、消防、警察等多くの団体が参加協力される大規模な災害訓練です。

この訓練に、皆様のお力を是非お貸しください。経験者、未経験者を問いません。サーベイメータの扱いの良く分からない方等は当日現地にて説明する担当者もいますので、参加協力の方よろしくお願ひします。

参加していただける方、詳細を知りたい方は、京放技事務所にメール又は FAX 送信していただくか、平日午後 1～5 時の間に電話をいただきたく思います。

よろしくお願ひいたします。

連絡先：(公社)京都府放射線技師会事務所

TEL&FAX：075-802-0082

E-mail：kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp

ホームページ <http://www.kyohogi.jp/>

京都府原子力総合防災訓練

主催：京都府 南丹市、京丹波町

開催日：平成 26 年 11 月 24 日 (月・祝日)

スクリーニング会場：丹波自然運動公園体育館

## 第 41 回くらしと健康展のお知らせ

広報・渉外委員会 新井 喬

10 月 26 日(日) 10:00 より、京都府医師会館において「第 41 回くらしと健康展」が開催されます。当技師会も主催団体の一員として例年通り出務致します。

放射線コーナーでは従来通りパネル展示、相談コーナー、資料コーナーなどを設けますので、参加ご希望の方は京都府医師会「くらしと健康展」事務局 075-354-6101 までご連絡ください。また、医師会館内の駐車場は利用できませんのでご来場の際には公共の交通機関をご利用下さい。(最寄り駅は JR 二条駅・地下鉄東西線二条駅)

【お詫び】大分での全国学術大会への運営参加により、10 月号ニュースの発刊が遅れたことをお詫び申し上げます。  
編集委員会 中島 智也

## 第 554 回研修会報告

学術委員会 原口 隆志

8 月 8 日 (金) に京都アスニーで第 554 回研修会を開催しました。毎年この時期に、京都医療科学大学より 4 回生に研究発表をしていただいていたいただき、さらに、現職の技師に初歩的な撮影・読影技術系の講演をしていただいています。現職の技師には、今現在の学生の学力レベルを知る機会になり、また、学生には座学では学べない現場の話題に触れることができ、それぞれにとって有意義な研修会になっていると思います。

以下に今回の研究発表と講演内容をご紹介します。

### GM 計数装置の作製

京都医療科学大学 4 回生 長谷川 嵩晃、村上 慎哉、平川 和樹

GM 管式測定装置は GM 管の出力が大きいため、測定回路が比較的簡便に作成することができる。今回、GM 管以外の部品について市販の安価な機器を利用して測定装置を作成し、その特性等を検討した。

作成マニュアルとして、宇都宮泰著の「図解入門 よくわかる最新線量計の基本と作り方 秀和システム (2013/03)」を参考にした。使用材料は、GM 計数管は PHILIPS18506。高圧電源部はメイン機材として富士フィルム製レンズ付きフィルム「写ルンです」とコンデンサ、電源部に単三アルカリ電池、計数表示部に歩数計、その他として少々の電子工作部品を使用している。計数用線源として  $^{137}\text{Cs}$ 、 $^{32}\text{P}$  を使用した。

作成は多少の電子工作の経験があればできる程度の作業で、高圧電源部は「写ルンです」を分解して基盤を取り出し、コンデンサと可変抵抗、電池を接続して GM 計数管につなげる。計数表示部は万歩計より基盤を取り出し、抵抗とトランジスタを取り付けると高速計数が可能になる。電源部と上記の基盤を 100 円均一にて購入した工具入れに詰め込むと、手作り GM 計数管の出来上がりである。

評価としてまず、 $^{137}\text{Cs}$  を用いプラトー曲線を作成した。印加電圧 60V 付近より計数率 (cps) がプラトーになり、550V 以上で極端な低下が起これ計測限界を確認した。250V を印加電圧とし、バックグラウンドを測定すると通常時は 40.3cpm だが、鉛ブロックで遮蔽すると 18.5cpm と、約半分の値になり、正常な作動を確認できた。距離特性について  $^{32}\text{P}$  線源からの距離を変えて測定した結果、計数率はほぼ距離逆二乗則に従って直線になった。標準偏差は  $^{32}\text{P}$  の 10 回計測で  $266.4 \pm 6.534\text{cpm}$  と 2.45% となり、JIS 規格の標準偏差  $\pm 30\%$  以内に十分収まる結果となった。以上の測定結果より、自作 GM 計数管は申し分のない精度を保持していると考えられる。

今回作成した GM 計数管は簡便に作ることができ、GM 計数管を含めても 5,000 円程度と安価であったが、精度は十分であった。

### ウェッジフィルタの性能評価

京都医療科学大学 4 回生 柴崎 徹郎、藤木 章吾、宮下 聖哲、矢野 隆祐

高エネルギー X 線、 $\gamma$  線での放射線治療の際に患者体内線量分布の歪みを補償するために用いられるウェッジフィルタ (くさびフィルタ、物理ウェッジと表記する) は照射ヘッドに取り付け使用するが、出力が減少し、ビームハードニングが起これという欠点がある。最近のリニアック治療装置には MLC (マルチリーフコリメータ) が装着されており、照射中に MLC を動かすことにより物理ウェッジを用いずに任意線量分布の作成が可能である。この MLC で作成したウェッジフィルタをバーチャルウェッジという。今回、物理ウェッジのビームハードニング効果と皮膚表面の線量保護効果について検討した。そしてバーチャルウェッジの照射時間を検討し、さらに物理ウェッジの時間と比較した。

ビームハードニング効果の検証として、水ファントムにフィルタなしと  $30^\circ$ 、 $60^\circ$  フィルタを付加して 22 cm まで深部 15 点にて測定したところ、それぞれ正規化しており、深部 10cm において 2%、深部 15cm において 2.5% と相乗的な線量上昇を認め、物理ウェッジ使用によるビームハードニング効果を確認することができた。しかし、X 線を用いる放射線治療は深部 10cm 程度までで、ビームハードニング効果の影響は臨床的に問題ないと考えられる。

表面線量の保護効果として、フィルタなしとフィルタ角度  $15^\circ$ 、 $30^\circ$ 、 $45^\circ$  で被写体タフウォータの厚さを 2~10 mm に変更して深さごとの線量を計測したところ、物理ウェッジを使用することで軟線除去効果が確認できた。例えば 6mm 深部において  $15^\circ$ 、 $30^\circ$ 、 $45^\circ$  はそれぞれ 2.53%、4.48%、9.13% の線量低下となっており、臨床的にウェッジフィルタ厚の増加は皮膚表面保護効果が増強され、現場において物理フィルタを使用することで患者の皮膚表面における照射焼けを軽減することが可能であると考えられる。

バーチャルウェッジについてフィルタ角度、照射野面、MU 値を変化させて照射時間を計

測したところ、それぞれ大きくなるにつれて照射時間が長くなった。また、バーチャルウェッジの MU 値 100 の照射時間を基準として物理ウェッジとバーチャルウェッジの照射時間の比較を行ったところ、バーチャルウェッジで照射時間の短縮が見られた。

以上の検証により、物理ウェッジを使用する際に起こるビームハードニング効果及び皮膚表面の線量保護効果が見られた。また、バーチャルウェッジを使用した際に照射時間の短縮が可能であり、照射野の設定では複雑であるが臨床的に魅力的であると思われた。

### 線量計校正のための実効エネルギーの作成

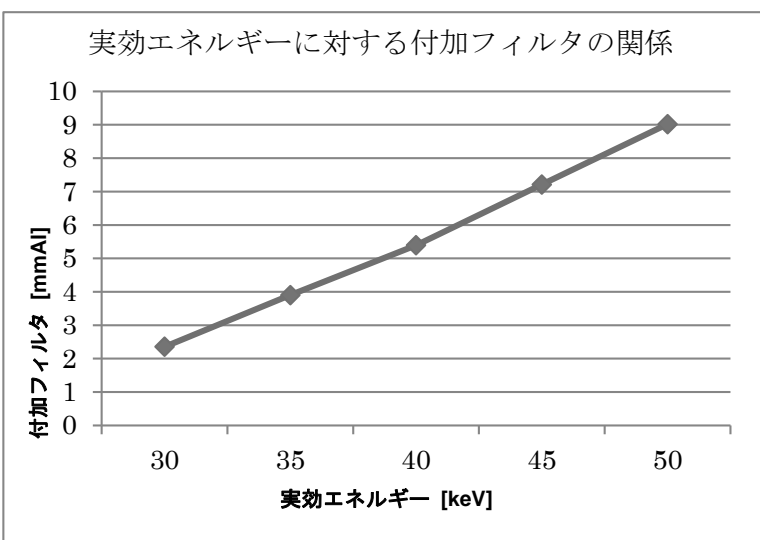
京都医療科学大学 4 回生 小西 真未、山崎 昌弥

放射線線量計校正に用いる診断用 X 線は線質表示として実効エネルギー及び線質指標 (QI) をあわせて表示することになっている。この実効エネルギーは第一半価層から求められるために第二半価層が異なっても実効エネルギーは同一となる。空気カーマ (Gy) から実効線量 (Sv) への換算係数は JIS4511 によると 30keV で 1.10、50keV で 1.67 と急激に変化している。そこで QI を一定に保ち実効エネルギーと付加フィルタの関係をグラフとして求め、30~50keV の範囲のあらゆる実効エネルギーに対応する付加フィルタの厚さを算出する数式を導くことにした。

X 線発生装置として GE 社製 TAITAN225S を使用した。使用装置は高精度の X 線装置で管電圧 5~225kV (0.1kV ステップ)、管電流 0.1~45mA (0.1mA ステップ) 出力に対する設定誤差、出力再現性は 0.05%以下と非常に安定性や出力の再現性に優れている。また、日本放射線技術学会計測分科会が保有する線量計 (指頭型電離箱: 東洋メディック RAMTEC1500B) を用いて計測を行った。同学会の診断領域線量計標準センターは線量計の校正条件として TAITAN 装置では 70kV、半価層 3.0±0.1mmAl の条件を使用している。この場合の実効エネルギーは 33.2keV となり、QI は 0.474 となる。この QI を一定とし 5keV ごとの実効エネルギーに対応する管電圧を求めたのが以下の通りである。なお、管電流は 20mA、照射時間は 5sec の一定とした。

半価層測定による実効エネルギーの算出 (管電流 20mA、照射時間 5sec)

管電圧 [kV]	付加フィルタ [mmAl]	半価層 [mmAl]	実効エネルギー [keV]
63.2	2.355	2.2807	30
73.8	3.900	3.3989	35
84.3	5.383	4.5155	40
94.9	7.210	5.7489	45
105.4	9.016	6.9764	50



上記の結果をグラフにするとほぼ直線になるが、多項式近似を行うと次式が得られた。

$$y = 0.0025x^2 + 0.1347x - 3.8977$$

求めたい実効エネルギー [keV] を  $x$  に代入すると、適切な付加フィルタの厚さ  $y$  [mmAl] が算出される。

この式で求めた付加フィルタの厚さが正しいか、任意の実効エネルギー 4 点 (32、37、43、49keV) で検証した結果、誤差は 0.5%以内となり、線量計校正の線質としては大きな問題にならないと考えられる。

今回、線量計校正のための実効エネルギーを算出する式は有効であると言える。

### 疑似カラー画像の液晶モニタ表示における人の色差弁別能について

京都医療科学大学 4 回生 坂口 翔一、谷口 実、東儀 尚樹、原田 良祐

現在、医療用カラー画像では一貫性を確保する規格がない。カラー画像の表示には環境光、モニタの種類、輝度、観測者、読影角度などが影響し、これらについて考慮しなければいけない。本研究ではその中でも観測者の色の見え方、つまり人における色差弁別能を明らかにすることで、医療用カラー画像の一貫性を確保する方法について検討する。

256色のオリジナルカラーパレットを作成し、その中から4色、青、緑、黄、赤を画面の左半分固定し、右半分をカラーパレット軌跡に沿って基準色から前後約20色に変化させるカラーパターンを作成する。基準色とカラーパレットの間にはマッハ効果を考慮し1mmの黒線を引く。実験前には液晶モニタをsRGB規格でキャリブレーションする。観測環境として環境光を遮断し、視野角を $10^\circ$ となるよう距離210m離れたところに顎置台を設置。2色の色を表示した画面を被検者が観察し、左右の色の違いが認識できれば指摘いただく。カラーが変化したステップ数を記録・集計、その平均と標準偏差を求めると黄、赤と比較して青、緑の弁別可能な色度差は小さかった。

色差弁別能の影響として、色度差だけでなく、輝度も影響していると考えられる。そのため、設定輝度と環境光が色度差に与える影響を測定した。緑から白にかけてはどの条件でも色度差を超えて輝度が弁別能に影響を与えることはなかったが、黒から青方向では影響があった。また、環境変化による見え方はモニタ輝度では $250\text{cd}/\text{cm}^2$ の方が $120\text{cd}/\text{cm}^2$ より影響が小さく、環境光では $400\text{lx}$ の方が $20\text{lx}$ （調光）より影響が大きかった。

以上の結果より、疑似カラー画像を液晶モニタで表示すると、人の色差弁別能は、暖色より寒色の方が優れており、色度のみだけでなく輝度の違いが影響している。また、環境光は明るい方がモニタのカラー表示に影響を与えた。さらに、モニタの設定輝度は明るい方が環境光の影響が少なくなる。したがって、できる限り暗い部屋でモニタの設定輝度を高くし、読影するのが望ましい。

## 放射線検査説明実施について—アンケート調査報告—

公立南丹病院 山根 稔教

最近の医療現場はチーム医療という取り組みが一般化している。その中で放射線技師は、平成22年の厚生労働省医政局長通知として、1. 画像診断における読影の補助を行うこと、2. 放射線検査等に関する説明・相談を行うこと、の2つの要望を示された。

そこで管理士会としてチーム医療を実践していく上において放射線検査の説明を患者様に行うことは重要な責務であると考え、この放射線検査説明についての現状と実態を知る目的で、京都府放射線技師会の会員が所属する医療施設（121施設）を対象にアンケート調査を行った。回答率は72施設、59.5%であった。その中で多数を占めたのが、医療法人の一般病院で、ベッド数が100~300床、所属している診療放射線技師は2~5名であった。

検査説明をすべての検査で行っているのが22%、検査の種類によっては行っているのが70%と、92%の施設で説明を行っていた。日本診療放射線技師会より発行している放射線検査説明のガイドラインは26%の施設が参考としていたが、48%の施設が知らなかった。説明を行っているのは医師が30%、診療放射線技師が49%、看護師が16%であり、説明を行っている対象は、被検者全員が26%、質問された方のみが15%、検査種別で異なるのが47%、特に必要と判断した人に対してが1%であった。診療放射線技師が説明を行っている割合が半数であり、積極的な説明行動が望まれる。説明に使用する説明書がある施設が33%、ポスターがある施設が39%、説明担当者の選任が行われている施設はなかった。説明を行っている検査種別としてはCT、MRI、消化管検査が主であった。検査説明の記録を行っていない施設は76%と大多数を占めたが、説明を行った行為を記録として残すことは必要なことで、重要な項目であると考えられる。

チーム医療の中で診療放射線技師が放射線検査説明を積極的に行っていくことで、患者さんに安心化を与え、患者さんの信頼を得られると思います。そしてその先には国民的に信頼される診療放射線技師につながっていくと考えています。

## 臨床で見る CT 画像—大動脈解離、動脈瘤—

公立南丹病院放射線科 中川 雄介

公立南丹病院の中川技師による大動脈解離の説明とCT画像の説明がされました。

救急施設での大動脈瘤や解離のCT画像をいくつも提示しながら、丁寧に説明をされました。臨床での経験がない学生にもわかりやすかったのではないのでしょうか。

以上、学生が4チーム、技師会調査発表が1演題、臨床画像を交えた演題が1つと、変化に富む内容でした。

京都府放射線技師会では毎年7月に、今回のように学生を交えた研修会を企画していますので、ぜひ皆様もご参加いただけるようにお願いします。

## 第 5 回理事会報告

平成 26 年 9 月 13 日

議長に城下理事、書記に久保田理事を選任し午後 16 時 00 分より議事に入った。

## I. 経過報告及び計画に関する件

## 1) 経過報告及び計画(議会長)

- (経過報告)
- 7月12日 全地区委員会およびフレッシュ技師の集い  
第553回研修会およびフレッシュャーズセミナー  
(セントノーム京都)  
(京都府医師会館)
- 8月7日 京都市長への表敬訪問  
(京都市役所)
- 8月8日 第554回研修会  
(アスニー京都)
- 8月9日 第1回常務理事会および全国大会実行委員会開催  
(京放技事務所)
- 8月30~31日 平成26年度京放技夏季研修会  
(舞鶴市商工観光センター)
- 9月5日 第30回学術大会実行委員会およびシステム委員会(大分県立看護大学)
- 9月6日 近畿会長・副会長会議および教育委員会議  
(大放技事務所)
- 9月13日 平成26年度京放技第5回理事会  
(京放技事務所)
- (計画)
- 9月18~21日 日本診療放射線学術大会  
(大分県別府市)
- 9月20日 全国会長会議  
(大分県別府市)
- 10月5日 近畿地域放射線技師野球大会  
(滋賀県高島市)
- 10月10日 平成26年度京放技第6回理事会  
(京放技事務所)
- 10月11日 日本放射線技師会第3回理事会  
(鈴鹿医療科学大学)
- 10月25日 中間監査  
(京放技事務所)
- 10月26日 くらしと健康展  
(京都府医師会館)
- 11月8日 平成26年度京放技第7回理事会  
(京放技事務所)
- 11月16日 静脈注射(針刺しを除く)講習会  
(京都第二赤十字病院)
- 12月6日 平成26年度京放技第8回理事会  
(京放技事務所)
- 12月7日 日本放射線技師会教育委員幹事会  
(日放技事務所)
- 12月20日 日本放射線技師会第4回理事会  
(日放技事務所)
- 全国学術大会実行委員会を月に2~3回開催
- 京都府知事表敬訪問(11月~2月)を検討(日放技会長同伴で調整中)
- 公益法人立ち入り監査(京都府)11月中旬~12月中旬予定

## 2) 委員会報告及び計画

- 【庶務】血谷理事
- ・会員数 8月31日現在494名(先々月+6)  
(内訳) 名誉会員4名、正会員463名、賛助会員27名(社)  
新入会7名、物故者1名  
※平成26年度新入会累計15名(再入会0名含む)
- ・委員会報告
- ・対外文書181件、発刊文書10件(7月1日~8月31日)
- ・新入会4名、転入会1名の承認
- 【財務】渡里理事
- ・会費納入状況(平成26年8月31日現在)  
平成25年度分を7~8月に42名が納入 合計267名(57.2%)  
平成25年度分未納者17名、平成24年度分未納者5名
- ・平成26年度7月、8月会計収支報告書  
(京放技事務所)
- ・7月31日 財務委員会開催  
(京放技事務所)
- ・8月23日 財務委員会開催  
(京放技事務所)
- ・火災保険は今年度も継続
- ・ガロアマネージメント財務ソフトを購入
- 【学術】原口理事
- ・7月12日 フレッシュャーズセミナー、第553回研修会、全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い開催  
(セントノーム京都)
- ・7月29日 第31回日本診療放射線技師会学術大会打ち合わせ  
(リンケージ事務所)
- ・7月30日 女性セミナー関西サミット打ち合わせ(京放技事務所)
- ・8月8日 第554回研修会  
(アスニー京都)
- ・8月30~31日 夏季研修会開催(原口・林・大西)
- ・9月5日 第30回日放技学術大会最終打ち合わせ(大分市)
- ・9月6日 近畿地域教育委員会及び会長副会長会議  
(大放技事務所)
- ・9月17~21日 第30回日放技学術大会開催予定(大分県別府市)
- ・10月26日 基礎講習会「CT検査」予定(兵庫医科大学)
- ・11月16日 静脈注射(針刺しを除く)講習会予定  
(京都第二赤十字病院)
- 平成27年
- ・1月24日 府民公開講座予定
- ・2月15日 近畿地域学術大会開催予定(奈良県)
- ・3月 第31回日放技学術大会実行委員会予定(京放技会議室)
- 【編集】中島理事
- ・7月23日 8月号ニュース校了
- ・8月26日 9月号ニュース校了
- ・8月30~31日 夏季研修会参加(舞鶴ベイプラザ)
- ・9月7日 線量計校正研修会参加(京都医療科学大学)
- ・9月18~21日 第30回日本診療放射線技師学術大会参加(別府市)
- ・9月19日 10月号ニュース編集作業予定
- ・公立豊岡病院の取材を承認(10月以降取材予定)
- 【広報・渉外】新井理事(庶務理事代読)
- ・7月9日 「第41回くらしと健康展」第1回実行委員会開催出席
- ・8月15日 「平成26年度第1回広報・渉外委員会」開催  
(京都医療センター)
- ・10月25日 「第41回くらしと健康展」設営・準備予定
- ・10月26日 「第41回くらしと健康展」出務・撤収予定  
(京都府医師会館)

- ・11月12日 「第41回くらしと健康展」実行委員会開催出席予定  
(京都府医師会館)

## 【組織調査】久保田理事

- ・8月1日 学術・組織調査・厚生合同委員会開催(京放技事務所)
- ・8月9日 常務理事会
- ・9月17~21日 全国学術大会参加予定(大分県別府市)
- ・9月 組織調査委員会開催予定
- ・11 or 3月 学遊会
- 【厚生】中川理事
- ・7月12日 フレッシュ診療放射線技師の集い開催  
(ホテルセントノーム京都)
- 参加64名(フレッシュ31名、一般会員33名)
- ・8月1日 学術・組織調査・厚生合同委員会開催(京放技事務所)
- ・10月5日 近畿地域放射線技師会野球大会  
(高島市今津総合運動公園)

## 平成27年

- ・2月1日 近畿地域放射線技師会囲碁大会開催予定(和歌山県)
- ・野球ユニフォームが不足している件にて、新規購入を要請。

## 【情報】中田理事

- ・7月14日 研修会3演題の抄録を掲載  
線量計校正研修会時間を訂正
- ・7月17日 第9回近畿救急撮影セミナーのお知らせを掲載
- ・7月18日 第二期決算公告を掲載
- ・8月1日 京放技ニュース掲載作業
- ・8月11日 学術大会リンク作成、日本医学会総会リンク作成作業
- ・8月18日 災害に関してを掲載
- ・8月19日 第61回近畿地域放射線技師会野球大会(滋賀県)掲載
- ・8月22日 夏季研修会詳細を掲載
- ・9月1日 京放技ニュース掲載作業
- ・9月3日 求人情報掲載  
京都府原子力総合防災訓練に関してを掲載

## 【管理士】山根理事

- ・7月12日 放射線管理士会地域代表者会議出席  
(日本診療放射線技師会事務所)
- ・8月8日 第554回研修会にて「放射線検査説明についての調査」報告  
(京都アスニー)
- ・8月22日 京都府原子力総合防災訓練会議出席(亀岡市ガレリア)
- ・8月30日 平成26年度京放技夏季研修会にて「放射線検査説明についての調査」報告  
(舞鶴商工観光センター)
- ・9月2日 京都府原子力総合防災訓練の会場下見と打ち合わせ  
(京丹波町)
- ・9月7日 線量計校正実習開催  
(京都医療科学大学)
- 参加者21名、線量計校正17台
- ・9月8日 原子力総合防災訓練での「サーベイヤ要員募集のお願い」を理事あてにメール送信
- ・9月19日 第30回日本診療放射線技師会学術大会にて管理士会より発表予定  
(大分県別府市)
- ・9月29日 京都府原子力総合防災訓練会議出席予定  
(亀岡市ガレリア)
- ・10月25日 くらしと健康展(放射線相談員として参加予定)  
(京都府医師会館)
- ・11月24日 京都府原子力防災訓練参加予定  
(京丹波町)
- 【受賞者選考委員会】河本副会長
- ・30年・50年勤続表彰者の選定
- 現在、30年は7名、50年1名が該当することがわかっています。
- 今回の選任者は京都大会での表彰になるので、誰も出席できないということのないようにしたい。

## II. 地区経過報告及び計画に関する件

## 【北地区】山本理事

- ・7月22日 第554回研修会と夏季研修会、線量計校正実習のお知らせを連絡網にて配信
- ・7月24日 計報連絡を連絡網にて配信
- ・8月19日 計報連絡を連絡網にて配信
- 【中地区】楡理事(庶務理事代読)
- ・7月23日 連絡網にて、554回研修会、夏季研修会、線量計校正研修会への参加呼びかけの配信
- ・7月24日 連絡網にて、中地区会員の計報連絡の配信
- ・7月25日 中地区会員の告別式に参列
- ・8月4日 連絡網にて、大分の全国学術大会の事前参加登録のべ切延長のお知らせについての配信
- ・8月24日 連絡網にて、夏季研修会の詳細の告知と参加呼びかけについての配信
- ・8月27日 連絡網にて、9月~12月の技師会行事・学習企画の案内の配信(9/7線量計校正の研修会、9/19~21全国学術大会、10/5近畿放射線技師野球大会、10/10~11注腸X線検査臨床研修、10/18~19X線CT認定技師講習会、10/26くらしと健康展、11/9放射線医薬品取扱いガイドライン講習会、11/23実践医療被ばく線量評価セミナー)
- ・9月10日 連絡網にて、原子力防災訓練でのサーベイヤ活動員募集のお願いの配信

## 【東地区】長岡理事

- ・7月22日 第554回研修会、夏季研修会、線量計校正実習への参加、呼びかけの配信
- ・7月24日 計報連絡を連絡網にて配信
- ・8月6日 全国大会への参加登録依頼、締め切り延長を配信
- ・8月19日 計報連絡を連絡網にて配信
- ・8月24日 夏季研修会の参加呼びかけを配信

## 【西地区】平井理事

- ・7月24日 西地区メールにて計報連絡
- ・7月25日 西地区メールにて8月研修会の呼びかけ

- 西地区（非会員）の線量計校正研修会参加依頼を管理士会山根理事へ連絡
- 7月28日 西地区メールにて大分全国大会参加登録依頼
- 7月29日 電話にて新入会（丹波笠次病院）へ地区理事挨拶と地区委員の紹介、メール登録許可のお願い
- 地区一斉メール新入会者登録（丹波笠次病院、三菱京都病院）
- 8月12日 西地区一斉メールにて災害時の技師会対応の連絡
- 8月18日 西地区一斉メールにて災害お見舞い連絡及び再度災害時の技師会対応の連絡
- 8月19日 西地区一斉メールにて訃報連絡
- 8月20日 委員会開催（三菱京都病院会議室）
- 8月29日 西地区一斉メールにて夏期研修会の出欠確認
- 管理士へ西地区(非会員)の線量計校正研修会参加依頼
- 【南地区】大西理事
- 7月23日 メールにて 554 回研修会、夏季研修会、線量計校正研修会への参加呼びかけ
- 7月25日 メールにて訃報連絡
- 8月7日 京都市長への表敬訪問を大西が同行
- 8月15日 委員会開催（参加者 8 名）（京都医療センター）
- 8月19日 メールにて訃報連絡
- 8月22日 メールにて夏期研修会の参加確認
- 【両丹地区】上田理事
- 7月8日 夏季研修会予算案提出
- 7月17日～ 夏季研修会会員演題募集（会員演題 8 題、特別講演 2 題）
- 7月22日～ 夏季研修会参加者募集
- 8月22日 委員会開催、夏季研修会事前準備
- 8月30～31日 夏季研修会開催 まいづる・ベイプラザ展示交流室
- 会員 37 名 非会員 10 名 いずれも延べ人数
- 8月31日 委員会開催
- 秋季研修会は未定
- 【西南部地区】松本理事
- 7月9日 第 553 回研修会、フレッシュ診療放射線技師の集いの案内を各地区委員に送信
- 7月12日 全地区委員会（3名出席）
- 7月25日 各地区委員へ訃報連絡
- 7月28日 各地区委員へ事前登録期間延長の案内メール
- 8月19日 各地区委員へ訃報連絡と台風被害の会費免除についての案内メール
- 10～11月に委員会を開催予定
- III. その他
- 1) 大分学術大会について（轟会長）
- 参加申込者が約 1,500 名で、予定の 2,000 名に届かなかったが、当日参加者に期待する。京都大会では観光シーズンを考慮して 2,500 名を目標にしている。
- 2) 京都学術大会について（北村副会長）
- 大分大会開催に合わせて、来年度の京都大会ホームページを公開

- 予定。京放技のホームページよりリンクで飛ぶようになる。まだ、トップページといくつかの案内や紹介が載っているだけだが、順次拡大させてゆく。
- 3) 近畿会長・副会長会議報告（轟会長、北村副会長）
- 基礎技術講習「X線CT検査」が10月26日に兵庫医大病院、「MRI検査」が平成27年2月22日に大阪島津製作所にて、「超音波検査」が3月8日に奈良県にて開催予定。
- 静脈注射（針刺しを除く）講習会が10月26日に滋賀県草津総合病院、11月8、9日に大阪がん循環器病センターにて、11月16日に京都第二赤病院で、12月14日に和歌山県紀南病院で開催される予定。京都会場の申込みは10月1日より受け開始。
- 関西広域連合から近畿各都道府県技師会に、原子力災害防災協定の締結を要望されている。現在準備を進めており、来年度に締結予定。昨年度の全国大会のときに島根県技師会が島根県と締結した先例あり。
- 放射線治療の計画を立てられ、放射線機器の保守管理ができる医学物理士を国家資格にする動きがある。理工系学士と放射線技術系(保健衛生)学士では受験資格に係る年数等に差異があり問題となっている。また、現在医学物理士の約8割程度が診療放射線技師資格を有しており国家資格にすべき理由が見あたらないとの意見がある。日本診療放射線技師会は医学物理士の国家資格昇格は反対の立場をとるつもりである。
- 4) 法律改正について（轟会長）
- 6月に法案が国会を通過し、検診車に医師がいなくともX線胸部撮影はできるようになった。また、核医学検査が診療放射線技師の業務として法律に明記された。1.造影剤の血管内投与に関する業務、2.下部消化管検査に関する業務、3.画像誘導放射線治療に関する業務に関しては来年の4月1日に施行されます。日放技としては3つの講習をまとめて開催(2日間)する予定。3年をかけて全診療放射線技師を受講させる予定。10月に厚労省より各都道府県へ通達される予定であったが、来年の3月に変更された。5年後にはその教育を受けた診療放射線技師が誕生するので、免許上差があってはいけない。厚労省からは全診療放射線技師を受講させるように通達される予定である。この受講通達にどれほどの強制力があるのかは今現在未定であるが、おそらく都道府県から各施設への通達になるので、それなりの効果はあるはずである。今までに造影剤の血管内投与に関する業務の講習会を受講していれば、3つの講習のうち造影剤の血管内投与に関する業務の講習会は免除される予定です。造影剤の血管内投与に関する業務の受講修了者を優先に他の2つの講習会受講がなされる見込みです。会員と非会員では、受講の優先や受講料に差が生じると示唆されます。現在予定されている造影剤の血管内投与に関する業務講習会は年度内に受講する価値はあります。
- 5) 公益法人立入監査（京都府）について
- 京都府からの公益法人立入監査を受ける予定である。11月中旬から12月中旬を予定している。
- 次回理事会は平成26年10月10日(金)京放技会議室にて開催予定
- 以上、各議案について採択し承認された。（文責：久保田）

### 求人のお知らせ

京都市内の病院でパートの求人があります。  
月～土曜日の午前中、場合によっては午後になる場合もあるそうです。  
詳しくは京放技ホームページか、事務所までお電話ください。

#### ▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 11月16日の京都第二赤病院での静脈注射（針刺しを除く）講習会は10月より日放技ホームページにて受講受け開始される。
- 関西広域連合より原子力災害防災協定の締結を近畿地区技師会へ要望されている。現在準備中で、来年度に締結予定。

#### ▶ 10月以降の京放技活動

10月5日(日)	近畿地域放射線技師会野球大会	滋賀県高島市今津総合運動公園
11月16日(日)	静脈注射（針刺しを除く）講習会	京都第二赤十字病院

## 会 員 異 動

### 【新入会】

棚田 康友（タナダ ヤストモ） 京都府立医科大学附属病院（北4） 他3名

### 【転入】

澤 悟史（サワ サトシ） 京都第一赤十字病院（東5） 奈良県より

### 【訃報】

小松 嘉勝 御本人 工場保健会（中4） 7月24日  
川勝 考直 御母堂 南丹病院（西5） 8月18日 謹んでご冥福をお祈りします。合掌。